

中央大学学員会 中大技術士会支部

ニュースレターvol.51

会員の皆様へ

はじめに悲しいお知らせをしなくてはなりません。

かねてから病氣療養中でした内藤賢一中大技術士会会長が、6月23日にご逝去されました。享年78歳でした。長年、当会の発展にご尽力して頂いたことへの感謝とともに、謹んでご冥福をお祈りします。合掌。(幹事一同)

後任の人事については、改めて幹事会で素案を作成し、総会で議案として諮ります。それまでは、副会長3名を先頭に幹事一同が支えてゆきます。会員の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

コロナ禍による緊急事態宣言発令の最中、いよいよ東京オリンピック・パラリンピック開催を迎えます。ほんの2年前、新しい令和の時代を迎えた直後、誰がこのような状況を想像したでしょうか。また梅雨前後の豪雨災害が各地で発生しています。現実は時に無情です。

このような事態に対し、医療現場や災害現場の最前線で従事されている方々には感謝の念に堪えません。我々技術士も、技術の知見を結集し社会に対し貢献してゆきましょう。

本ニュースレターが、会員間の有用な情報交換の場となれば幸いです。

本会では会員の皆様からの投稿をお待ちしております。

内 容	ページ
巻頭言	2 ページ
■ 「技術士に求められているスキル (Part2) 「リーダーシップ」について 中大技術士会幹事長代行 山下三雄さん (建設部門・総合技術監理部門)	2 ページ
活動報告	3 ページ
■ 幹事会報告	3 ページ
■ 部会報告	4 ページ
活動計画	5 ページ
■ 企画部会活動計画	5 ページ
■ 大学支援部会活動計画	5 ページ
リレーエッセイ	6 ページ
■ 「ご無沙汰しています」: 大畠利宏さん (上下水道部門)	6 ページ
投稿エッセイ	7 ページ
■ 大学で第一次試験の技術士ガイダンスを実施しています: 坂林和重さん (電気電子部門)	7 ページ
■ 「科学技術と倫理」講義を通じて感じたこと: 国友信秀さん (生物工学部門・総合技術監理部門)	9 ページ
お知らせ	10 ページ
■ 技術士のラジオ番組「技術のミカタ」好評につき継続中です: 小柳拓央さん (金属部門・総合技術監理部門)	10 ページ

■ 技術士に求められているスキル (Part2) 「リーダーシップ」について

中大技術士会幹事長代行 山下三雄さん (建設部門・総合技術監理部門)

ニュースレターVol46 の巻頭言で技術士に求められるスキルとして「コミュニケーション能力」について書かせていただきましたが、今回は「リーダーシップ」についての私の私見を述べたいと思います。

私の社会生活を顧みますと上司に恵まれた環境にあり、これは私のたまたまの強運であったと考えております。大学卒業後に就職したゼネコンで最初に配属された現場の工事主任は、その後常務取締役大阪本店長に、次の現場所長はその後常務取締役東京支店長に、さらにその現場の施主の国内 No5 に位置する不動産会社の当時の担当者は新入社員でしたが、なんとその後社長から会長にまで上り詰めました。先の現場所長からは私が赴任した時に所長室に呼ばれ、「仕事は山下君の思う通りにやりなさい。すべての責任は私が取るから。」とのお言葉をいただき、社会にはすごい人がいるものだなと感服いたしました。この所長はパワハラとは全く無関係で、私にとってその後の人生における師匠のような存在でした。私は、パワハラは部下にモチベーションを与える能力のない証拠と考えています。仕事カプラス人間力があれば、部下は黙ってついてきます。パワーは必要ありません。



その後ヘッドハンターにより中堅の建設コンサルタント会社に転職し取締役東京支店長（1年後に常務）を拝命した時、最初に支店の社員を集めて次の3点を話しました。

1. 私に対する反対意見は大歓迎であり、単なるYESマンは評価しない。

賛成意見は聞いてもほぼ意味がない。反対意見の中にこそ自分の気づかない大事なことが多く、いかに耳の痛いことを言ってくれる部下をそばに置いておくことができるかが組織を健全に維持するのに必須のことです。我が埼玉県が生んだ「我が国の資本主義の父」と称されている渋沢栄一先生の愛読した論語にも「過ちを改めるに憚ることなかれ」とある通りです。

私もこれまで上司に対して忤度することなく、自分の意見を述べてまいりましたが、このことで私に対する評価面等で幾分損をしてきたようにも思います。建設コンサルタントの支店長時代には、会長からのコンプライアンスにいくらか疑義がある指示に対して、社員を守るために反対意見を表明しましたが、受け入れられなかったために、このこともあって自ら辞職を申し入れ円満に退職いたしました。今考えれば私に会長に対する説得力が足りなかったものと反省しております。

2. 悪い情報ほど早く自分に上げて欲しい。

私にとって耳障りの良い情報は後回しでよい。悪い情報は早ければ早いほど対応の選択肢が多く、解決する可能性が高くなる。遅くなればさらに悪化してついにはどうにもならなくなる。皆さんも悪い情報は早く上にあげたほうが、気が楽になるはずですよ。

3. 最終的に責任を取るのは、当然に他ならぬ私です。

これは先の現場所長の受け売りですが、トップが最終責任を取らないようでは、組織として成り立たない。部下の責任を取ることを公言するには、悪い情報を素早くキャッチできる環境づくり、常日頃の確実な業務のチェック及び徹底した教育が必須です。

活動報告

■ 幹事会報告

行事名	開催日程	活動概要
理工学部長との面談	4月28日(水) 11:00~11:15	<p>(1)技術士第1・2次試験の日程・会場及び令和1・2年度の第1次試験の申込者数・合格者数について説明</p> <p>中央大学において令和2年度は、申込者数(474人→77人、合格者数(91人→46人)と大幅に減少し、合格者数が全国で第2位から第5位に後退した。合格率は(19.2%→59.7%)と健闘した。意欲のある受験者が多かったためである。受験ガイダンスがWEB実施になったためPR不足になったのは否めない。</p> <p>(2)今年度の予定</p> <p>受験ガイダンスは第1次試験の受験申し込みの日程(6/17~/30)から言って6/14(月)の週がベストであるが、無理であれば6/21(月)の週に計画する。リアル開催だけではなくWEBとのハイブリッドでの開催を検討する。</p> <p>(3)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年実施している模擬試験の他に「特別講座」の実施を検討する。 ・試験合格者に大学から賞状を与えることも検討する。
令和3年度 第1回幹事会	4月16日(金) 19:00~20:30	<p>(1)各部会報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総務部会報告 特になし ・企画部会報告 特になし ・広報部会報告 特になし ・大学支援部会報告 <p>① 昨年度は技術士第1次試験のガイダンスが動画配信になったためか、受験者数が約180人から約100人に激減し、合格者数も全国第5位に転落した。技術者ガイダンスは今後理工学部長及び理工事務室と相談して進める。</p> <p>② 「科学技術と倫理」の講義は、5月下旬に国友幹事及び6/1に山下幹事が行うことに決定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2環境対策技術研究会 会長が欠席のためになし ・大学技術士会連絡協議会報告 ・各学科との協力事項 特になし <p>(2)審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会の審議事項について <p>① 2020年度活動報告及び2021年度活動計画 原案通り承認された。</p> <p>② 2020年度収支決算及び2021年度収支予算 原案通り承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次期役員選定委員会について <p>秋の総会開催を踏まえて、夏ごろまでに次期執行部候補者を取りまとめたい。</p> <p>(3)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小柳幹事がかかわっているFMラジオ放送の「技術のミカタ」のアーカイブ画像データを、技術士試験のPRのもなる

行事名	開催日程	活動概要
令和3年度 第2回幹事会	6月18日(金) 19:00~20:00	<p>ので、ホームページに載せることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回幹事会の予定 <p>6/18(金) 19:00 学員会会議室又はWEB会議で開催する。</p> <p>(1)各部会報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総務部会報告 <p>① 4/28 副会長3名と幹事長代行が理工学部長と面談し、技術者ガイダンスについて協議した。</p> <p>② 「科学技術と倫理」の授業に講師を派遣した。5/25 国友幹事、6/1 山下幹事の2名。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画部会報告 特になし ・広報部会報告 <p>ニュースレターNo50を4/22の発行、No51の発行を小柳編集委員担当のもとに準備中。国友幹事にエッセイの投稿を依頼した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学支援部会報告 <p>技術士試験ガイダンスについて、6/12に資料を準備し6/15~オンライン又は対面事業とのハイブリッドで動画を作成し実施中。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2環境技術対策研究会 会長が欠席のためなし。 ・大学技術士会連絡協議会 担当者が欠席のためなし。 <p>(2)審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次期役員選定委員会に委員案について <p>中尾委員長より4/17~5月にかけて6回にわたって鋭意委員会を開催し協議を続けた結果、坂林会長候補の推薦があり、他の委員は幹事会に委ねるとの報告があった。幹事会の総意として坂林会長候補を承認し、他の委員は坂林候補を中心として次回幹事会までに候補者を決めることとする。</p> <p>(3)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「キャリアデザインと倫理」の授業の兼任講師は若手の人に積極的に参加を呼びかけ、公募も考える。 ・中大技術士会のツイッターの開設も考える。 ・次期幹事会の予定 <p>8月20日(金) 19:00~ 非常事態宣言が解除になれば学員会会議室とのハイブリッド開催も考える。</p>

■ 部会報告

○大学支援部会報告

項目	内容
新入生オリエンテーション	6/21・22(金・土)新入生オリエンテーションにおいて、技術士及び技術士試験制度・在学中に1次試験合格のメリット等の紹介の動画を配信することについて、理工学部事務室と協議している。
技術士ガイダンス	授業時間のはじめ、または終わりに10分程度の時間を借りて技術士試験について説明した。6/15(火)~6/25(金)
在学生用のメーリングリストを立ち上げた	在学生が、気軽に受験情報を共有できるようにメーリングリストを立ち上げました。student@chuo-u-pej.org
第一次試験の質問窓口を立ち上げた	第一次試験の受験生を支援するために質問の窓口として下記メールアドレスを立ち上げました。shitumon@chuo-u-pej.org

○広報部会報告

項目	内容
サーバー運営	メーリングリストに新規入会者を登録、メールアドレス修正
ニュースレターの発行	ニュースレターvol.50の作成、発行
HP 新規掲載	ニュースレターvol.50の掲載
その他	一次試験受験の促進、模擬試験の案内を目的に、在学生向けのメーリングリストおよび、学生からの問い合わせ先のメーリングリストを新規に作成し運用を開始した。
会員の皆様へのお願い	<p>① 就職、転勤、転職、転居等により連絡先が変更になった場合、幹事会宛てにご一報をお願いします。詳細はホームページ「入会のご案内」をご参照ください。連絡先：toiawase@chuo-u-pej.org</p> <p>② ニュースレターへの会員の皆様らの投稿をお待ちしています。近況報告、受験体験談、2020年東京五輪への期待、何でも構いませんので、積極的な応募をお待ちします。</p> <p>③ 会員相互の交流を深めることを目的に比較的気楽に投稿できる「<u>趣味</u>」を共通テーマとしたリレーエッセイを(Vol.36)より開始しました。執筆依頼がありましたら、躊躇せずに投稿をお願いします。また、リレーエッセイの投稿をご希望の方は toiawase@chuo-u-pej.org まで、お知らせください。意外な繋がりが生まれるかも知れません。</p>

活動計画

■ 企画部会活動計画

行事	日程	内容
法曹会との交歓会	未定	次回の開催は中大技術士会が幹事担当ですが、新型コロナウイルスの影響で開催を見合わせています。開催時期については、今後の状況を見て検討を行っていきます。

■ 大学支援部会活動計画

行事	日程	内容
模擬試験受験生の募集	9月下旬	第一次試験の模擬試験を受験する人をCプラスなどで募集します。
模擬試験の実施	10月下旬	第一次試験の模擬試験を実施します。

■ 「ご無沙汰しています」：大畠利宏さん（上下水道部門）

近況：

49歳でやっと技術士資格を取り技術士会に入会、ニュースレターV.13（2011年3月）に「はじめまして」で寄稿させて頂きました。2006年1月から水戸市内の中央技術株式会社に勤務し、茨城県内の上下水道設計等を行っています。昨年度、RCCM河川の資格で、利根川上流河川事務所の災害復旧設計を行い、河川に関する国土交通省設計業務を久々に経験できました。



埼玉県新座市の自宅と単身赴任先の寮との二重生活は15年間になります。水戸北スマートインターができ、行き来は2時間程に短縮されました。この11月で63歳になりますが、“水”に関わる技術者としてこれからも頑張りたいと思います。

技術士会：

技術士会から派遣している“技術者倫理”の兼任講師に平成2016年度から参加、“キャリアデザインと倫理”に変わってからも、年1回の講義を続けています。昨年は6月1日、音声付のパワポからビデオを作成してのオンライン講義でした。今年は7月3日、後樂園校舎からのハイブリッド講義で、対面受講者が10名超、オンライン受講者が70名程でした。この講義準備等のため、このリレーエッセイの原稿締切りを遅らせて頂き、ニュースレター関係者に御迷惑をかけてしまい申し訳ありません。

趣味：

「はじめまして」で書いた、“那珂川をカヌーで下りたい”は、半日体験だけで終わっています。水泳は、茨城県内の温水プール+日帰り温泉に平日週1回位、週末は自宅近くのスポーツクラブで続けています。目標は、ゆっくりクロール50分、あとは3泳法を適当にですが、疲れていたり、混んでいたりすれば終わりにしています。

温泉とビール好きの仲間数人で、日本秘湯を守る会の宿を中心に、あちこちをめぐるっています。スタンプ10個で1泊ご招待、昨年7月の宿泊で4泊目のご招待まであとスタンプ2つ、10月の岩手ツアーをキャンセルし、まだ中断中です。

自己流のスノボも、スキー仲間がいなくなり、冬の温泉ツアーで、毎年最低半日をずっと続けていましたが、昨年1月の天元台で途切れてしまっています。

同級生：

昨年は茨城県内の現場にいる同級生と、GOTOを使って県内の岩ガキ+温泉民宿での1泊ができましたが、あんこう+温泉は、コロナ禍で実現できませんでした。前号の西川和也さんも同級生で、奥様の実家がある北海道で家を建てましたので、行かなければなりません。このコロナ禍が落ち着いて、みんなで、徐々に行動できるようになれば、と思っています。

最後に：

温泉、ビール、スノボ、水泳をキーワードとして、仲間を増やしたいと思っています。

次のエッセイは、ニュースレターV.13にいっしょに掲載され、この4月に同じ中央技術株式会社に入社した「小園江雅彦さん」にリレーします。

■ 「大学で第一次試験の技術士ガイダンスを実施しています」:

坂林和重さん（電気電子部門部門）

皆さんこんにちは。中大技術士会の幹事をしている坂林です。
私は、中大技術士会で大学支援部会を担当しています。その中で、在学生に第一次試験の受験を進めるという役割があります。在学生に進める目的は、一次試験に合格して良い就職をして活躍してもらう事です。そして中央大学が、合格者人数で大学日本一になる事です。
現在の中央大学の順位は、下記の5位です。



表1. 技術士第一次試験の大学別合格者数と順位の推移

順位	H29年	H30年	H31年（令和元年）			令和02年				
	大学名	大学名	大学名	申込	合格	率%	大学名	申込	合格	率%
1	日本大学	日本大学	日本大学	-	-	-	日本大学	-	-	-
2	中央大学	中央大学	中央大学	474人	91人	19.2	佐賀大学	-	-	-
3	佐賀大学	佐賀大学	佐賀大学	-	-	-	東京都市大学	-	-	-
4	東京都市大	早稲田大学	九州大学	約 1/6 に激減			早稲田大学	-	-	-
5	千葉工業大	京都大学	早稲田大学	-	-	-	中央大学	77人	46人	59.7
6	早稲田大学	九州大学	京都大学	-	-	-	岐阜工業高等専門学校	-	-	-
7	名城大学	青山学院大	岐阜工業高等専門学校	-	-	-	青山学院大学	-	-	-
8	法政大学	岐阜工業工専	名城大学	-	-	-	長岡技術科学大学	-	-	-
9	青山学院大	大阪市立大学	大阪市立大学	-	-	-	千葉工業大学	-	-	-
10	立命館大学	千葉工業大学	松江工業高等専門学校	-	-	-	九州大学	-	-	-

他大学が、例年に近い受験人数の中で、中央大学だけ受験人数を大きく下げて5位となりました。申し訳ありません。受験人数を下げた原因は、コロナ禍で対面による技術士ガイダンスができずに動画配信による技術士ガイダンスだったためです。さらに、中央大学は、東京都内に校舎があります。2020年度東京都内に学生の多い中央大学は、コロナ禍の影響で受験生が減少しました。今年は、下記で極力対面での技術士ガイダンスを実施しています。

表2.技術士ガイダンスの実施日程と実施先内訳

日付	曜日	授業形態	学科名	科目名	学年	担当教員
6/15	火	対面(ハイブリット)	物理	量子力学及演習2	3年生	石井先生
6/17	月	オンライン	都市	空間デザイン演習	3年生	緒方先生(榎山学部長)
6/18	金	オンライン	人間	人間総合理工学演習	3年生	山村先生

6/21	月	対面(ハイブリット)	電気	回路基礎及び演習 2	2 年生	田村先生
6/22	火	対面(ハイブリット)	生命	遺伝子工学実験	3 年生	箕浦先生
6/23	水	対面(ハイブリット)	都市	専門演習 1	3 年生	須永助教(谷下先生)
6/24	木	オンライン	DS	生産管理	3 年生	高桑先生
6/24	木	オンライン	人間	ソフォモアセミナー	2 年生	山村先生
6/25	金	対面(ハイブリット)	生命	分子遺伝学	2 年生	箕浦先生
6/25	金	対面(ハイブリット)	生命	地球環境・生態学	2 年生	諏訪先生
6/25	金	オンライン	DS	メソッド・エンジニアリング	2 年生	高桑先生

計算上で受験人数が、**700 人を超えれば**全国で 1 位になれます。現在、1 位を目指して頑張っています。



写真 1. 技術士ガイダンスの様子

上の写真は、箕浦先生の授業にお邪魔して技術士ガイダンスを実施した様子です。対面できる人数は、履修人数の 5 割程度かもしれません。残り 5 割は、リモートです。残念です。まだまだ東京都は、まん延防止中なので学生との対面が困難ですが、昨年より順位向上を期待して頑張っています。(中央大学の理工学部は、23 区内にあるため他大学より厳しい戦いです) 少しでも順位が上がるように、皆様の応援をよろしくお願いいたします。

■ 「科学技術と倫理」講義を通じて感じたこと：国友信秀さん

(生物工学部門・総合技術監理部門)

5月25日に中央大学理工学部語学人文社会教室の授業(吉田先生)でゲストスピーカーとして「科学技術と倫理」について1年生(約100名)を対象にオンライン講義を行った。



講義では以下の3つを伝えるべく取り進めた。

一つ目は、「技術者倫理」の必要性がますます重要性を増している点である。

今の大学生は、Z世代(1990年後半から2012年頃に生まれた世代)と呼ばれている。

生まれた時からSNS、スマホ等が身近にあり、人格形成や趣味嗜好、考え方にデジタルツールが大きく影響を及ぼされている世代である。

彼らが当たり前のように、超高速で情報を入手したり、発信することができる今の現実(=当たり前の現実)を今一度、再認識し、技術者倫理の必要性を考えてもらった。

二つ目は「中大を卒業して26年目になる先輩(おじさん)」が楽しみながら日々、仕事を頑張っているよ。という生のメッセージを贈りたいと考えた。

現在、私は中間管理職として、上からも下からも突かれながら、サラリーマン・エンジニアとして「自分の夢」を追いかけ突き進んでいる。

現在の私の職務を例に、自身がやりたいと思えば、「自分の夢」が叶えられる事、また、社会に出ても未来は明るいよ!ということ、事例で紹介した。

三つ目は、彼らは現在、コロナでオンライン授業を余儀なくされているけれども、必ずパンデミックは収束するので、その暁には、しっかり友達と語り、遊び、かけがいのない友人をたくさん作ってほしいと伝えた。

以上のような内容で約70分講義を行い、課題としてレポートを書いてもらった。

「あなたが関心を持っている社会課題を挙げ、あなたの考えを800字程度でまとめよ」という内容で、社会課題のジャンルは問わないとした。

後日、レポートを添削すると、今の学生が考える課題は概ね以下の3つに大別された。

- 1) 環境問題(マイクロプラスチックなどによる海洋汚染)
- 2) ゲノム編集などによる遺伝子組み換え技術の利用
- 3) SNSなどの情報管理

環境、生命、情報という3つのキーワードである。

我々、現役世代が日々の業務・ビジネスで取り組んでいる課題そのものであり待ったなしの喫緊の課題であった。

レポートを添削した感想は、優秀な学生が多く、自分の言葉で社会課題に対する思いを語ってくれていた。SDGsなどを踏まえ、自身の世代で解決しなければならないこと等、高い志を持った意見が多数あり、環境に対する意識が非常に高いという印象を受けた。

この若者たちが、いきいきと活躍できる社会、本当の意味での豊かな日本とは何か?

若者たちの素朴で純粋な気持ちにこそ、社会をより良くするための、大きなヒントが秘められているのではなからうか?このように、講義を通じて感じたのである。

最後に、パンデミックが収束し、後樂園キャンパスに若者の声が響き合う日が来ることを願ってやまない。

お知らせ

技術士のラジオ番組「技術のミカタ」好評につき継続中です：小柳拓央さん

(金属部門・総合技術監理部門)

令和3年1～3月の期間に計6回、技術士資格の広報を目的とした番組「技術のミカタ」を放送しました。金属部門の技術士の有志3人が回毎にMCを担当し、私もその一人として担当してきました。おかげ様で、放送は好評でその後の番組の継続が決まり、現在は月1回となったものの、放送が続いています。



放送局は、八王子FM TokyoStarRadio77.5、番組は「シュークニヒロの世界ドソングコミュニティ」(金曜夜21:00～22:00)の25分のコーナー番組です。

活躍する技術士、技術士を活用した企業、業界団体、技術士の国会議員、日本技術士会の寺井会長まで登場しています。今後は、技術士を目指す修習技術者、21部門のうちの部会長、大技連の幹事校などを予定しています。是非、実際の放送をお聴きください。リスラジというスマホアプリを使えば、日本全国どこからでも視聴可能です。お楽しみにしてください。

しかし、「聴き逃した!」「聴けない!」という声も実際、多く聞えてきます。そこで朗報です。八王子FMには視聴エリア100万人の地方公共放送(普通のラジオで聴ける)でありながら、放送をアーカイブとして残せるというメリットがあります。(メジャー局のラジオの聞き逃し配信は僅か1週間です。)

そこで、中大技術士会のホームページにも、技術のミカタのリンクを張りました。そのため、アーカイブの視聴が容易になりました。是非、お聴きください。

もう1点、嬉しいお知らせがあります。

プロデューサーの好意により、技術士第一次試験のラジオCMを作っていただきました。出演は、番組パーソナリティのシュークニヒロ氏と、映画「電車を止めるな!」で主演を務めたコウガシノブさんです。私は監修を手伝いました。面白CMですので、是非お聴きください。

一般の方向けに技術士の認知度向上を目的としています。SNSの拡散も大歓迎です。このラジオCMは、現在も第一次試験の案内部分を除いて技術士CMとして放送中です。

この他、YouTubeでも視聴可能です。QRコードを張りますので、スマホをかざして、是非ご視聴ください。(3パターンあります。)



ニュースレターへのご意見、ご感想をお待ちしています。⇒ toiawase@chuo-u-pej.org

2021年7月号 中大技術士会 広報部会 発行

中大技術士会ホームページ：<http://www.chuo-u-pej.org/>